

1. 現行計画策定後の変化による見直し（1／2）

<課題3> 在宅療養生活への円滑な移行の促進

<これまでの取組>

- 実践的な研修の実施や、入退院支援に取り組む人材の配置に伴う人件費へ支援を行い、医療機関における入退院支援体制を充実
- 二次医療圏ごとに協議する「地域医療構想調整会議在宅療養ワーキンググループ」を設置し、在宅療養に関し広域的に取り組むべき課題や取組の検討体制を構築

<更なる取組の充実が必要な点、計画策定後の変化 等>

- 在宅療養患者の入退院時における地域と病院及び病院間における情報共有について、更なる充実が必要
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響から対面でのカンファレンス等が困難な状況下において、これまで以上にICTを活用した情報共有の推進を図っていく必要。

<新たに記載する内容>（案）

【基本目標Ⅱ、Ⅲ】

（取組3）在宅療養生活への円滑な移行の促進

- 入院医療機関における入退院支援の取組を更に進めるとともに、入院時（前）からのかかりつけ医、地域の医療機関、介護支援専門員等、多職種との情報共有・連携を強化し、患者・家族も含めたチームでの取組を促進していきます。
- 区市町村を越えた広域的な入院医療機関と地域の連携（入退院支援・医療・介護連携）の充実に向け協議の場を設定するとともに、地域における在宅療養への移行調整の役割を担う在宅療養支援窓口の機能強化に向けた取組を充実していきます。

（拡充）

- 東京都退院支援マニュアルの活用を促進、内容の充実に向けた検討を行うとともに、各地域で運用されているシステムの違いに関わらず円滑に患者情報にアクセスできる「東京都多職種連携ポータルサイト」を活用し、地域の医療介護関係者と病院、病院間の情報共有の促進を図っていきます。

1. 現行計画策定後の変化による見直し（2 / 2）

<課題2> 地域における在宅療養の推進

<これまでの取組>

- 人生の最期の過ごし方を考え家族などと話し合うことの重要性や地域での暮らしを支える在宅療養の取組等を盛り込んだ都民向けリーフレットの配布、都民向け講演会を実施し、都民への普及啓発に取り組むとともに、区市町村の看取りに関する取組への支援を実施。
- また、医療・介護関係者を対象とした研修を実施し、在宅及び施設における看取りに関する専門知識を提供。

<更なる取組の充実が必要な点、計画策定後の変化 等>

- 住み慣れた暮らしの場において、最期まで自分らしく暮らし続けるため、都民が自らの希望する医療・ケアを受けることができるよう、アドバンス・ケア・プランニングに関する都民への普及啓発と医療・介護関係の対応力向上に向けた支援が必要。
- 新型コロナウイルス感染症の流行下において、重症化した場合等に備え、アドバンス・ケア・プランニングにより話し合っておくことの重要性が高まっている。

<新たに記載する内容>（案）

（取組2） 在宅療養患者を支える地域の取組を推進

【基本目標Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ】

<拡充>

○ 住み慣れた地域で安心して暮らし、本人の希望する場所で最期を迎えられるよう、看取りに対する都民の理解を促進するとともに、人材育成や看取り環境の整備に向けた取組を推進していきます。また、都民が自らが望む医療・ケアについてあらかじめ話し合い共有する取組であるアドバンス・ケア・プランニングに関する普及啓発を行うとともに、地域の医療・介護関係者及び病院スタッフの対応力向上に向けた取組を進めていきます。

○ 在宅療養における安全管理や感染症等への対応について、関係団体等とともに取り組んでいくとともに、地域における医療・介護関係者間の連携体制の強化を図ってまいります。